荏原製作所の知財活動と ROIC への貢献

はじめに

このレポートは、荏原製作所の知財活動が ROIC（投下資本利益率）にどのように貢献しているかを分析したものです。荏原製作所の統合報告書やウェブサイト、特許庁等の公開情報、知財専門家等のウェブサイト、論文や記事等を参考に、荏原製作所の知財活動の特徴を明らかにし、ROIC 向上への貢献度を分析しました。

荏原製作所の知財活動の歴史

荏原製作所は、ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷凍機等の製造・販売を行う、1912 年創業のリーディングカンパニーです。創業時から知的財産と深いつながりを持ち [1]、研究開発型企業として、長年にわたり活発な知財活動を展開してきました。 [2] 2003 年以前は年間 600～700 件の特許出願を行っていましたが、事業状況等の影響を受け 2007 年度には約 250 件まで減少しました。 [1] 2010 年度には研究開発投資は回復したものの、特許出願数は減少し続けました。 [1] これは、特許をはじめとした知的財産への投資意欲が社内全体で低下していたためと考えられます。 [1]

しかし、世界金融危機後、特許出願数が減少する危機を経験したことを機に、荏原製作所は知財活動の見直しを行いました。 [1] 「数も力なり」を掲げ、出願要件の判断基準を緩和したり、知財部員による発明者へのサポート強化、出願報奨金の増額といった施策を実施しました。 [1] その結果、2011 年度から 2015 年度にかけて、特許出願数は約 4 倍に増加しました。 [1] 現在では、出願数の増加だけでなく、知財の質向上にも注力しています。 [1]

荏原製作所の知財活動の概要

荏原製作所における知財活動の目的は、「事業活動を円滑にし、事業から得られる利益を最大化すること」です。 [3] 知財活動を通じて ROIC を高め、企業価値向上を目指しています。 [3] 知財部門は、研究開発部門と連携し、特許、意匠権、商標権等の取得・管理・活用を推進しています。 [2]

2024 年 4 月には、特許庁長官と荏原製作所の浅見取締役代表執行役社長 CEO&COO ほか幹部の方々との間で、知財戦略等に関する意見交換会が行われました。 [4] 特許庁は、荏原製作所が知財を競争力の源泉と位置づけていることを認識し、その知財活動を高く評価しています。 [5]

荏原製作所の知財活動は、以下の要素から構成されています。

知財ポートフォリオ管理

他社との差別化による製品競争力強化、競合からの訴訟リスク低減、新興企業の市場参入牽制

を目的とした知財ポートフォリオの構築・管理を行っています。[3] 必要最低限のコストで権利群を構築・維持することに重点を置いています。[3]

知財リスク管理

他社による権利侵害を避けるため、SDI（Selective Dissemination of Information：選択的情報提供サービス）による継続的な監視やクリアランス調査を実施しています。[3] SDI とは、あらかじめ登録したキーワードに基づいて、特許情報等の最新情報を自動的に配信するサービスです。

情報分析

IP ランドスケープと呼ばれる、事業上の具体的な行動の決定に資する活動を行っています。[3] IP ランドスケープとは、特定の技術分野における特許等の分布状況を可視化し、分析することで、研究開発戦略や事業戦略の策定に役立てる手法です。

協創

Ebara Open Innovation を掲げ、外部機関との共同研究を積極的に行うことで、知的財産による協創という枠組みで研究成果を足がかりに外部との関係を構築しています。[3] 荏原グループでは、CTO（Chief Technology Officer's）オフィスを設立し、多くの技術を組み合わせ新たな価値創造を推進しています。[6] コア技術の強化や製品ごとの市場・技術動向を踏まえ、事業部門と連携した研究開発・出願権利化活動に取り組んでいます。[6]

知財活動の ROIC への貢献

荏原製作所の知財活動は、上記のような特徴を持つことにより、ROIC 向上に貢献しています。具体的には、以下の点が挙げられます。

- **製品競争力の強化**: 知財ポートフォリオ管理によって、他社との差別化を図り、製品競争力を強化することで、売上増加に貢献しています。[3] 例えば、特許取得によって、競合他社が類似製品を製造・販売することを制限し、市場における優位性を確保することができます。[7] 2023 年には、ポンプ設備及び制御装置、めっき装置用抵抗体、ポンプ運転支援方法など、193 件の特許出願が公開されています。[7]
- **訴訟リスクの低減**: 知財リスク管理によって、競合企業からの訴訟リスクを低減することで、訴訟費用等の発生を抑制し、利益確保に貢献しています。[3] クリアランス調査によって、自社製品が他社の知的財産権を侵害していないことを確認することで、訴訟リスクを未然に防ぐことができます。
- **研究開発の効率化**: 情報分析や協創によって、研究開発の効率化を図ることで、研究開発費用の削減に貢献しています。[3] IP ランドスケープによって、有望な研究開発テーマを特定したり、競合他社の技術動向を把握することで、研究開発の重複や無駄を削減することができます。
- **ブランド価値の向上**: 知的財産権の取得・活用によって、ブランド価値を向上させること

で、顧客からの信頼獲得、ひいては売上増加に貢献しています。[3] 特許や商標権は、企業の技術力や信頼性の証として、顧客に安心感を与えるとともに、ブランドイメージ向上に役立ちます。

さらに、荏原製作所は、「知財版 ROIC」という独自の指標を用いて、知財活動の効率性と事業収益への貢献度を評価しています。[6] 知財版 ROIC とは、知的財産活動における投資（費用や人的工数）と、その活動による成果を評価指標として用いるものです。[6]

具体的には、知財版 ROIC は、以下の要素から構成されます。

- **投資**: 特許出願費用、中間処理費用、年金費用、人件費、システム費用、知財情報費用など、知財活動に関連する費用や人的工数を数値化したもの。
- **成果**: 知財ポートフォリオ管理、知財リスク管理、分析提言活動、知財契約など、知財活動による成果を、事業収益との関連性を考慮して数値化したもの。[6]

知財活動の成果を数値化することで、事業収益への貢献度合いを可視化し、知財活動をより効率的に行い、収益向上に繋げることを目指しています。[6]

オムロンも ROIC 経営を推進しており、知財・無形資産活動を将来の ROIC 向上に繋がる投資と捉えています。[8] しかし、オムロンでは知財センタが知財・無形資産に関するガバナンスを統括しているのに対し、荏原製作所では知財部門が研究開発部門と連携して知財活動を推進している点が異なります。[8]

知財活動の課題と今後の展望

荏原製作所の知財活動は、ROIC 向上に貢献している一方で、以下の課題も抱えています。

- **知財人材の不足**: 知財活動を推進するためには、専門知識を持った人材の確保が不可欠です。[3] 専門人材の採用や育成、外部専門家との連携強化などが求められます。
- **グローバルな知財戦略の推進**: 海外市場における事業展開を加速するためには、グローバルな視点に立った知財戦略の策定・実行が重要です。[3] 海外の特許制度や市場動向に関する調査、海外拠点における知財体制の整備などが課題となります。
- **知財情報の活用**: 知財情報を経営戦略に効果的に活用するための仕組みづくりが求められます。[3] 知財情報データベースの構築、知財情報の分析・活用ツールの導入、経営層への知財情報提供などが課題となります。

荏原製作所は、これらの課題を克服し、知財活動をさらに強化することで、ROIC 向上に大きく貢献していくことが期待されます。

結論

荏原製作所は、知財ポートフォリオ管理、知財リスク管理、情報分析、協創といった多角的な知財活動を通じて、製品競争力の強化、訴訟リスクの低減、研究開発の効率化、ブランド価値の向上を実現し、ROIC 向上に貢献しています。[3] また、「知財版 ROIC」という独自の指標を用いることで、知財活動の効率性と事業収益への貢献度を評価し、継続的な改善を図っていま

す。[6] 今後、知財人材の育成、グローバルな知財戦略の推進、知財情報の活用といった課題に取り組むことで、さらなる企業価値向上を目指していくと考えられます。

荏原製作所の知財活動は、同社の長期ビジョンである「E-Vision2030」の実現にも貢献しています。[2] E-Vision2030 では、「社会・環境価値を同時に向上させていくことで企業価値を高める」ことを目指しており、知財活動は、そのための重要な手段の一つとなっています。 荏原製作所は、今後も知財活動を積極的に展開することで、持続的な成長と社会への貢献を実現していくものと期待されます。

引用文献

1. 知的財産委員会 | 一般財団法人バイオインダストリー協会[Japan Bioindustry Association], 1 月 24, 2025 にアクセス、 https://www.jba.or.jp/activity/study_group/intellectual/
2. 座談会 開発・発明をビジネスにつなぐ知財戦略 −技術を守る特許 ..., 1 月 24, 2025 にアクセス、 https://www.ebara.co.jp/jihou/no/list/detail/262-5.html
3. 荏原製作所における知財価値評価とその活用, 1 月 24, 2025 にアクセス、 https://www.ebara.co.jp/jihou/no/list/detail/262-6.html
4. 株式会社荏原製作所と意見交換を行いました | 経済産業省 特許庁, 1 月 24, 2025 にアクセス、 https://www.jpo.go.jp/news/ugoki/202404/2024041701.html
5. 2022 年 8 月号 目次 | 「知財管理」誌 | 機関誌・資料 - 日本知的財産協会, 1 月 24, 2025 にアクセス、 https://www.jipa.or.jp/kikansi/chizaikanri/mokuji/mokuji2208.html
6. 荏原製作所の知財 ROIC, 1 月 24, 2025 にアクセス、 https://yorozuipsc.com/blog/roic
7. 株式会社荏原製作所の特許出願公開一覧 2023 年 - IP Force, 1 月 24, 2025 にアクセス、 https://ipforce.jp/applicant-710/2023/publication
8. 両利きの知財活動を戦略目標に | We are Shaping the Future! 私たちが手繰り寄せる未来ストーリー | オムロン株式会社 - OMRON Corporation, 1 月 24, 2025 にアクセス、 https://www.omron.com/jp/ja/edge-link/news/697.html